



キッチン面材とレンジフードを白で揃え、ナチュラルな雰囲気を高めて。木の風合いを残したアンティーク仕上げの白い面材に、アイアンの取っ手が映える

タイルやアイアンをあしらって 遊び心のある空間に

山梨・Mさん ● 設計・施工 / インターデコハウス山梨西

フレンチ point

ニュアンスのあるタイルを使い
雰囲気づくりと清潔感を両立

キッチンは天板に白いタイルを、床材にテラコッタ調のタイルを取り入れ、あたたかみのある雰囲気を感ぜられる場所に。掃除のしやすさも考慮して、サイズの小さすぎないものを選んだ。



右 / キッチン天板は100角タイルを採用。色は清潔感のあるホワイトに 中央 / カウンターの下にアイアンブラケットを付けてオシャレ感をプラス 左 / 床材は汚れを拭き取りやすいテラコッタ調タイルに

カウンターには収納などを設けず、ダイニングテーブルとして使えるように設計。窓からたっぷり光が入り、くつろげる空間に



Kitchen

ナチュラルな明るい色の空間を
アイアンの黒で引き締めて

美容師であるご主人の独立開業に合わせ、あこがれたプロヴァンス風の白い塗り壁の家をつくり上げたMさん。以前から南仏の建築や文化に興味があったご主人が「イメージ通り」と選んだのは、インターデコハウスの「プロヴァンス アルル」の家でした。住居スペースとなる二階のLDKは、白い塗り壁に明るいパイン材の床を合わせ、開放感あふれる明るい空間に。標準仕様で選べるフレンチテイストのア

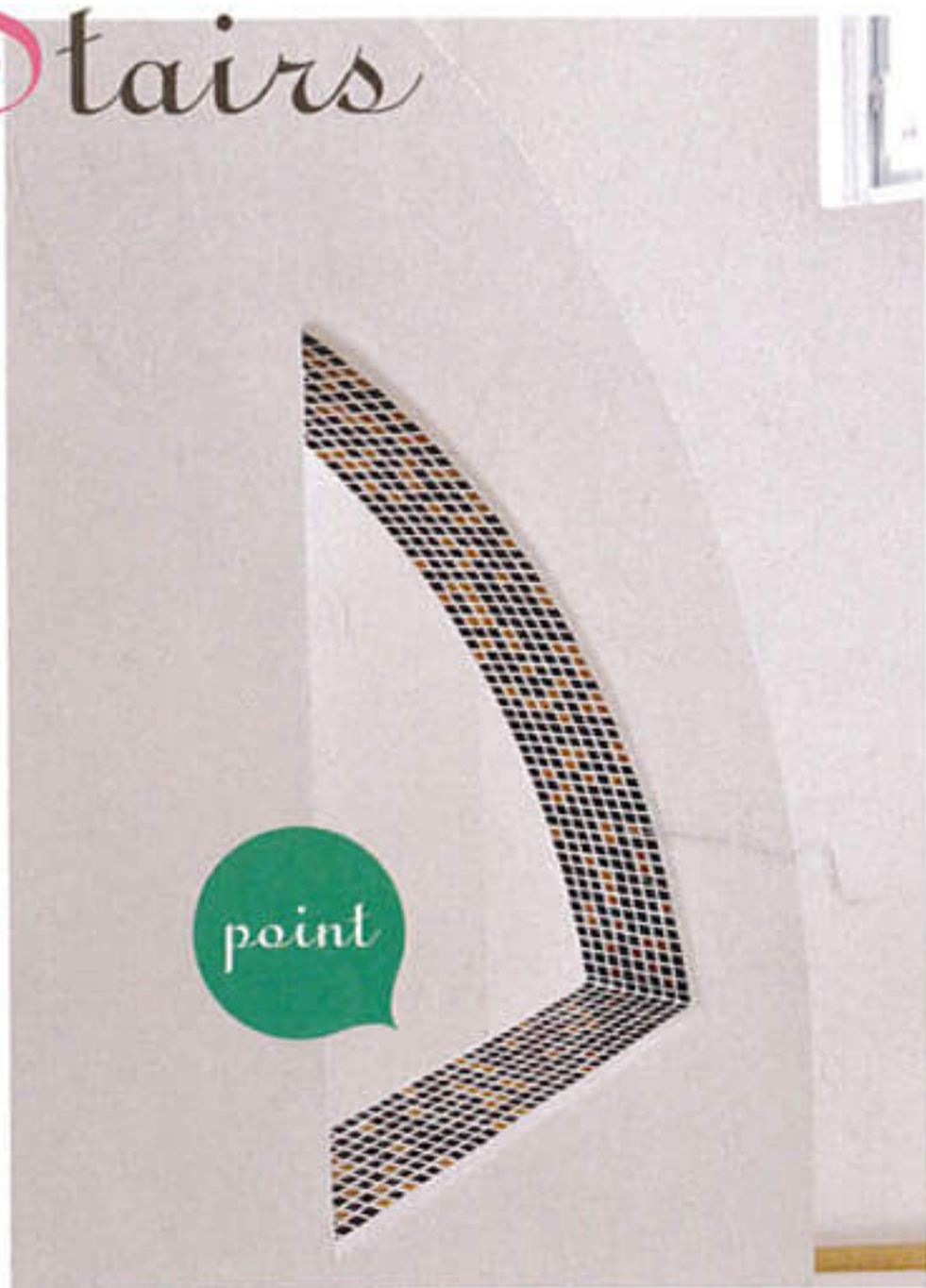


右/アイロンのカーテンポールはインターデコハウスオリジナル。キリッとした表情をプラスする 左/ダイニングにつけたアイロンの照明は、カウンター下のアイロンス飾りとマッチ



あまりものを置かず、すっきりとまとまったリビング。「リビングに収納家具を置きたくなくて、そのぶん寝室や廊下に大きな収納を造りました」と奥さま

Stairs



point



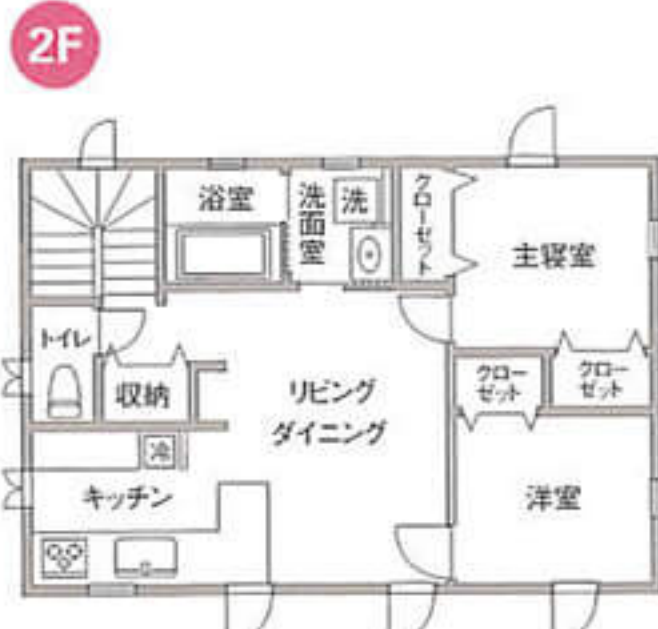
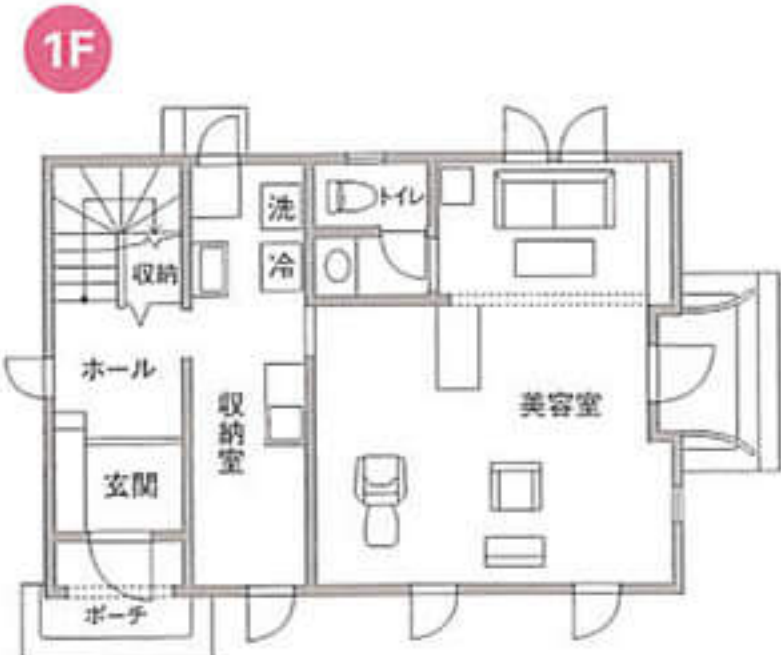
吹き抜けになった階段は、明るくさわやかさ満点。壁の一部をくり抜いてタイルを張ったり、コーナーを生かして飾り棚を作ったり、職人さんによる遊び心が光る



1階はご主人が営む美容院。こちらは濃いブラウンの床材やインテリアで統一し、アンティークの趣が漂う大人っぽい雰囲気に仕上げている

DATA

家族構成/ご主人(35歳)、奥さま(29歳)
敷地面積/331.29㎡(100.21坪)
建築面積/58.76㎡(17.77坪)
床面積/1F 56.37㎡(17.05坪)
2F 58.76㎡(17.77坪)
合計 115.13㎡(34.82坪)



Sanitary



point
サニタリーのミラーまわりには、階段の壁の開口にも使ったモザイクタイルを使用。統一感のあるデザインが◎

濃淡のあるオレンジ色のタイルが、ぬくもりある雰囲気を演出。アイロンやタイルなど、LDKと共通の素材を使いまとまり感を出した



あこがれだった塗り壁と、等間隔に並んだ窓が愛らしい外観。外壁を塗るときに立ち会い、塗り跡の見え方にもこだわった

アイロンパーツを窓辺やキッチンカウンターにあしらひ、スパイスとして効かせています。ポイントにした茶色のモザイクタイルや、施工支給のアンティーク調の照明も思わず目をとめるアクセント。カウンターをダイニングテーブルとして使えるように設計し、光がたっぷり注ぐ特等席に座りながらこれからのインテリア計画に話が弾むふたりです。